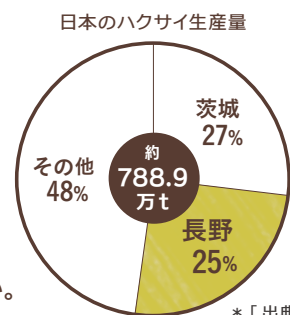




だから、おいしい。 長野のハクサイ

長野県のハクサイの旬は6月から10月。
国内生産量の第2位※のシェアを占めます。
では、長野のハクサイはどのように栽培されているのでしょうか。

※【出典】平成30年農林水産省「野菜の作付面積、収穫量及び出荷量」



※【出典】平成30年産
野菜生産出荷統計

ぼくと一緒に
見ていこう！



定植栽培



1 土づくり・全面マルチ

畑全面にマルチを張ることによって、手間のかかる草取りなどの工程を省くことができます。栽培の作業性も向上し、効率のよい生産が可能になります。

「定植」では
全面にマルチ
を張るんだ。



2 播種

専用のトレイに培地を詰めて穴をあけ、コーティングされた種をひとつずつセルに播きます。気温、光、湿度に配慮しながらハウスの中で発芽を待ちます。



3 育苗

種を播いてから約53時間で発芽します。そこから約20日ほどで、定植できるサイズまで苗が生長します。病気にかかったり、小動物に狙われやすいため、育苗は注意が必要です。



4 定植

育った苗を畑に植えつけます。「定植」のメリットは、苗が揃うこと。生育が揃うことで、生産が安定する上、間引き等の手間もないため効率よくハクサイを生産することができます。

小さな苗が
畑に植えられ
ていくよ。



直播き栽培



a 土づくり・マルチ張り

春先から土壌を整え、畝を高くして水はけのよい畑を作ります。

畝が高いのが
御嶽の畑の
特徴なんだ。



b 播種

マルチに穴をあける際、同時に種を播く穴もあけます。発芽のリスクを避けるため、ひとつの穴に2粒種を播いていきます。



ハクサイの
コーティング種子

植え穴



c 間引き

直播きの場合、芽が出てからだいたい2週間ほどで間引きを行います。弱い芽はもちろん、勢いのありすぎる芽も間引いて、畝全体の生長が揃うよう、調整していきます。



5 生育

昼夜の寒暖差が、みずみずしいハクサイを育てます。養分や水分をたっぷり蓄えたハクサイは、定植で53日～55日、直播きで58日～60日くらいで収穫を迎えます。（時期により収穫までの日数は変化します）

昼と夜の気温に
差があるほど美
味しくなるんだ。



9 出荷

午前中に集荷場に集められたハクサイは、検査を受けた後、鮮度を保つように冷蔵庫で予冷され、トラックに積み込まれて出荷されます。

長野のハクサイを
いっぱい食べてね。



8 集荷・検査

集荷場に集められた各農家のハクサイは、検査員により「玉揃い」「重さ」などの項目を検査されます。



7 箱詰め

収穫したハクサイは、その場で重さを量りながら規格ごとに分けて箱詰めしていきます。内側の葉を傷つけないよう、外葉を2枚残して丁寧に詰めています。



6 収穫

収穫は涼しい早朝に行います。専用の包丁でまず株元を切り、その後、外葉を取り除くためにもう一度包丁を入れる「二段切り」で、手際よく収穫していきます。



※栽培方法や環境・日数は、生産者や地域により異なります。